

「市民主体による歴史的建造物の保存活用 —楽しみながら守り育てる高知流のまちづくり—」講演会開催

伝統的建造物群保存地区として始動する吉原地区のまちづくりに向け、地域の町並みを楽しみながら守り育てる高知・赤岡町の事例から、そのヒントやアイデアを探る講演会を、下記の通り開催いたしますのでお知らせします。

記

- 講演会名：市民主体による歴史的建造物の保存活用
—楽しみながら守り育てる高知流のまちづくり—
- 日時：令和8年3月22日（日）
14時00分～15時00分
- 会場：旧鳥路邸（舞鶴市西吉原25番地）
- 講師：北山 めぐみ 氏
（高知工業高等専門学校 ソーシャルデザイン工学科 准教授）
- 参加費：無料
- 内容：歴史的建造物を活かした赤岡町のまちづくりについて講演

【高知県香南市・赤岡町】

幕末に絵師・金蔵によって描かれた芝居絵屏風を神社の夏祭りで飾る独特の風習が現在まで残る地域。

人口減少に伴う町の衰退に対して、平成初期から「絵金」を活かしたまちづくりを開始し、土佐絵金歌舞伎の立ち上げ、絵金蔵の開館、冬の夏祭りの開催、初代村長邸宅の保存活動など、市民主体の取り組みが20年以上行われてきた。

